

伊集院保健所感染症情報

2026年第41週（令和8年10月5日～令和8年10月11日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令中：インフルエンザ

管内流行発生警報発令！：水痘

管内流行発生警報発令中：手足口病、ヘルパンギーナ

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第38週	第39週	第40週	第41週	先週からの増減	第40週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	124.00	78.50	39.00	83.00	↗	55.23	↗
インフルエンザ	30	10	10	12.00	1.50	11.50	15.50	↗	10.58	↗
COVID-19	—	—	—	0.00	0.00	0.50	0.50	→	0.61	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	1.00	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	7.00	3.00	6.00	7.00	↗	1.77	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	2.00	3.00	3.00	1.00	↘	3.10	↗
水痘	2	1	1	4.00	1.00	0.00	2.00	↗	0.19	↗
手足口病	5	2	—	2.00	0.00	7.00	2.00	↘	0.77	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	2.00	0.00	0.00	→	0.23	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	9.00	6.00	4.00	5.00	↗	0.84	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	3.00	10.00	8.00	3.00	↘	1.35	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC ノロウイルス感染症に注意しましょう！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は1年を通して発生しますが、これからの時期感染者が増える傾向があります。

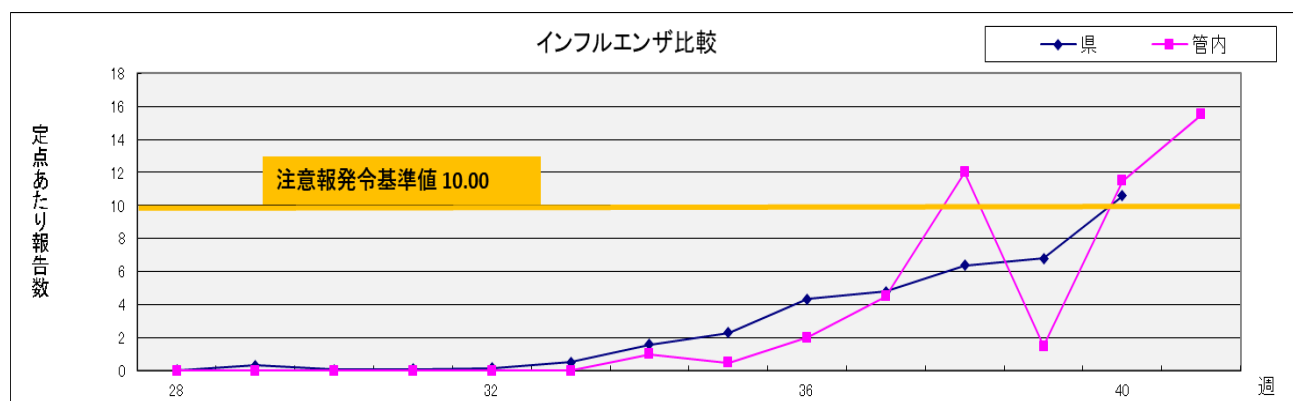
感染経路は、手指や食品などを介して経口で感染し、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子供やお年寄りなどでは重症化したり、嘔吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。ワクチンはなく、治療は対症療法に限られるので、次の予防対策を徹底しましょう。

（予防対策）

- ①食事の前やトイレの後などには、泡立てた石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。
- ②下痢や嘔吐などの症状のある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- ③患者の便や嘔吐物には多量のウイルスが含まれています。便や嘔吐物を処理する時には、使い捨てのガウン（エプロン）、マスク、手袋を着用し、適切に処理しましょう。また、消毒剤としてアルコールではなく、塩素系の次亜塩素酸ナトリウムを用いることも重要です。
- ④加熱が必要な食品は、中心部までしっかりと加熱（中心温度 85 度 90 秒以上）してから食べましょう。

● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生注意報発令中）



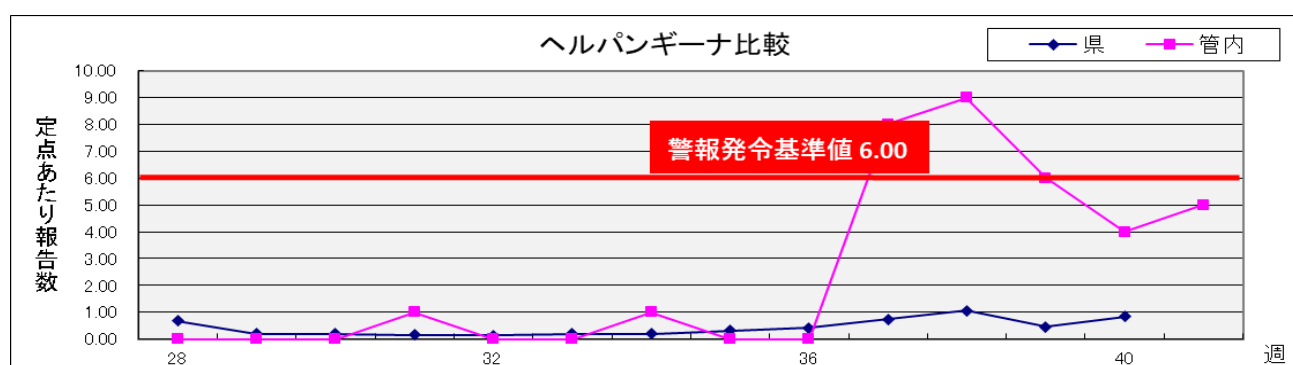
第 41 週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、31 人（定点当たり 15.50）でした。

年齢別では、6 歳・10～14 歳（各 6 人）、8 歳（4 人）、2 歳・3 歳・4 歳（各 3 人）、5 歳・7 歳（各 2 人）、9 歳・15～19 歳（各 1 人）でした。

インフルエンザは、発症すると 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防方法としては、普段から流水と石けんによる手洗いや、ワクチン接種をすること、咳が出る場合は、「咳エチケット」をすること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・ヘルパンギーナ（流行発生警報発令中）



第 41 週の伊集院保健所管内におけるヘルパンギーナの報告数は、5 人でした。年齢別では、6 ヶ月～11 ヶ月・3 歳・4 歳・5 歳・6 歳（各 1 人）でした。

ヘルパンギーナは、発熱とともに、のどに痛みと水疱が現れる「夏かぜ」の一種です。

感染症発生動向調査によると、乳幼児を中心に 5 歳以下が全体の 90%以上を占めます。病気の原因となるウイルスは、主にエンテロウイルス属のコクサッキーウイルス A 群です。

主な症状は、感染してから 2～4 日後に、突然の発熱に続いて、のどに痛みと水疱が現れます。発熱は 1～3 日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを起こします。一般的に経過は良好で、2～3 日以内に回復します。しかし、合併症として、熱性けいれん、脱水症、小児ではまれに髄膜炎や心筋炎などの注意が必要です。

ヘルパンギーナは、発症後 2～4 週間頃まで便からウイルスが排せつされるため、発症した乳幼児のおむつ交換を行う時は、排せつ物を適切に処理し、流水と石けんでしっかりと手洗いをしてください。また、咳やくしゃみをする際は、マスクを着用したり、ティッシュで口を覆うなどの咳エチケットを心がけましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 10/5～10/11（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが 49 人（型不明 12 人、A 型 37 人）、溶連菌感染症 2 人が報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフルエ ンザ A 型	溶連菌 感染症
日置市	12	35	2
いちき串木野市	0	2	0
三島村	0	0	0
十島村	0	0	0
計	12	37	2